

6，9 1，0

（包紙）

「大谷九右衛門殿

柴田肇

大谷善右衛門殿

浦野源太左衛門

久保田平之進」

6，9 1，1

書狀令披見候、如承意

志摩様倍御安泰被成

御超歳候、随_而年始為御祝詞

紙面之趣申上候処入念義

思召候、相心得可申入旨被

仰出候、恐々謹言

久保田平之進

三月廿日

博（花押）

浦野源太左衛門

昌（花押）

柴田肇

重眞（花押）

大谷九之右衛門殿

大谷善右衛門殿

6，9 1，2

「端裏書」

「大谷九之右衛門殿

柴田肇

大谷善右衛門殿

浦野源太左衛門

久保田平之進」

追_而申入候、然_者鯉節

老折十飛脚ヲ以被差越

則差出候処入念儀

御満足思召候、相心得

可申入旨被

仰出候、以上

三月廿日